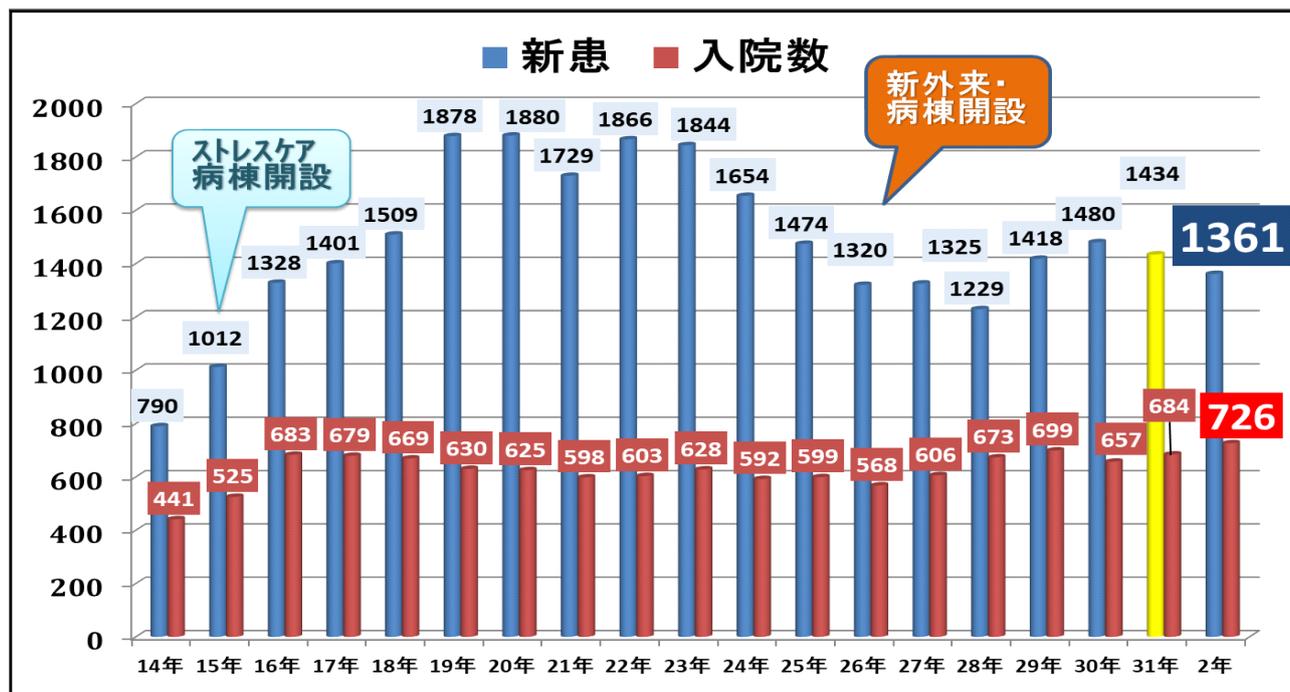


新患・各種指標

1 年度別新規患者数・入院者数

令和2年度の新規患者数（カルテベース）は1361人で、昨年度の1434人よりも減少している。これは、令和2年4月5月と新型コロナ禍で受診控えが多かったためである。新規患者の予約がゼロということもあったが、予約外での受診者はいたため新患が全くいなかった診療日はなかった。新患は、平成26年6月から予約制している。平成26年5月からの新棟も6年が経過した。患者案内はコンシェルジュがスムーズに行っている。



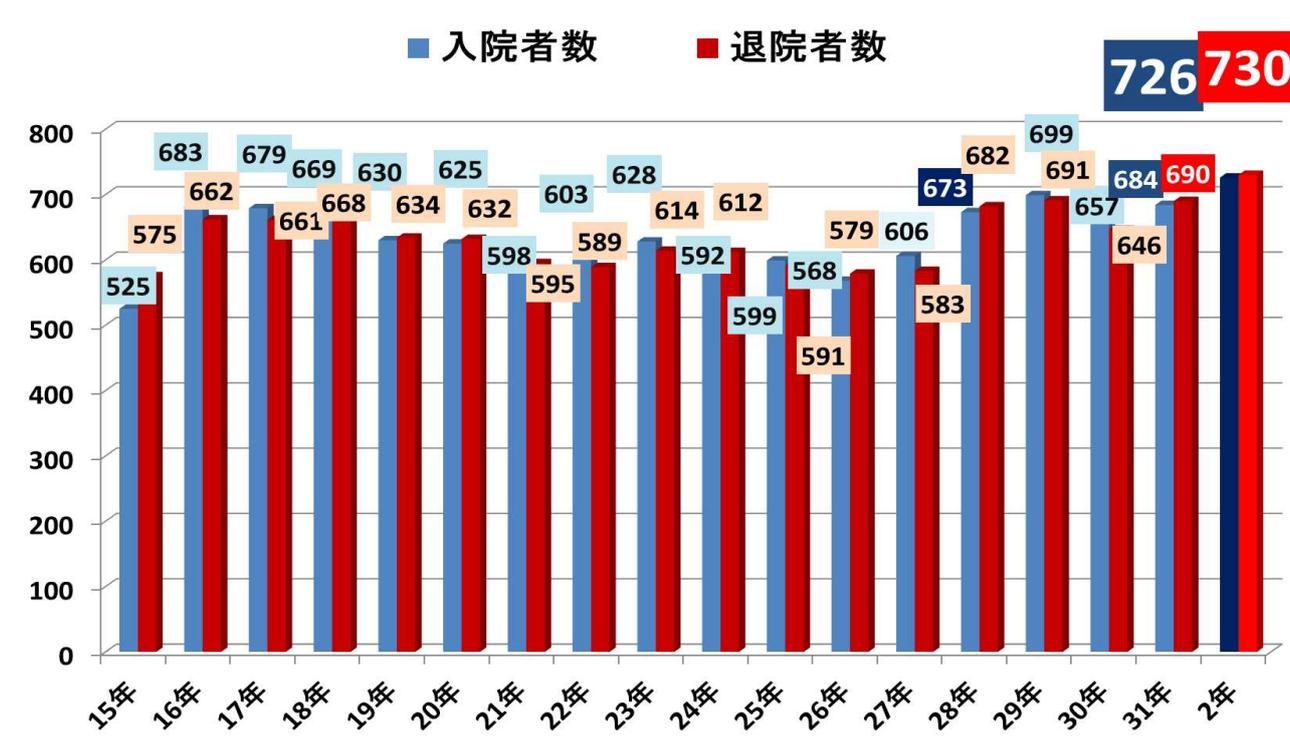
2 月別初診・新規患者数

4月、5月の初診患者数の落ち込みが目立つ。病床利用率は93.5%であった。在院数は185人が目標である。今年度からは16歳未満の加算数も項目にのせた。

2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
診療日数	21	21	23	23	20	24	23	22	22	24	21	22	266
入院数	59	63	52	60	53	65	62	58	65	59	65	65	726
退院数	68	52	55	63	56	53	69	62	62	63	69	58	730
入院総数	239	232	234	239	229	238	247	236	239	236	238	234	2,841
1日平均在院数	179.2	180.5	184.9	183.1	178.1	184.5	184.5	179.3	179.8	178.7	176.7	176.2	180.5
ベッド利用率	92.8%	93.5%	95.8%	94.9%	92.3%	95.6%	95.6%	92.9%	93.2%	92.6%	91.6%	91.3%	93.5%
平均在院日数	87.5	91	91	89.3	101.3	93.8	87.3	92.6	84.9	90.8	79.1	88.8	89.8
平均入院日数	63.1	62.2	62.2	89.6	87.4	122	72.4	134	99.1	60.2	109.9	74.4	86.4
初診患者数	156	153	159	120	102	174	169	158	169	199	161	151	1,871
新患数	87	89	109	67	68	111	105	103	108	123	103	106	1,179
患者延べ数	4877	4645	5062	4697	4314	4998	5174	4834	5115	5284	4923	5201	59,124
外来実人数	3009	2916	3018	2933	2780	3039	3090	2992	3102	3155	3070	3221	3,027
一日平均患者数	157.3	160.1	163.2	163.2	139.1	166.6	166.9	155.9	170.5	170.4	164.1	167.7	162
一日平均実数	232.2	221.2	220.1	204.2	215.7	208.3	225.0	219.7	232.5	220.2	234.4	236.4	222
時間外受診者	9	10	22	10	21	12	24	11	18	12	13	20	182
20歳未満加算	76	84	70	46	47	78	73	75	88	93	91	126	947
16歳未満加算	70	56	46	47	42	55	66	84	100	112	110	105	893

入院・退院患者統計

1 年度別入院者・退院者数



平成 16 年度の急性期病棟運用時から入院退院ともに 600 人台であった。令和 2 年度は、入院者数 726 人、退院者数 730 人と初めて 700 人台になった。

2 性別・年齢・病棟別入院者数

性別では女性が 7 割近くを占める。入院者の年齢は 12 歳から 85 歳までで平均年齢は 39.4 歳。年齢層は 20 ～ 40 代が 2 割を占める。10 歳代は 89 人（12.3 %）、40 代までで 7 割、50 代までで 86%、60 代までで 95 %である。70 歳以上は 35 人（4.8%）、80 歳以上は 6 人のみであった。

入院形態では、任意入院が 579 人（79.8 %）を占める。急性期病棟でも、6 割を占め、患者自身の入院意思によって適切に医療が行われている。鑑定入院は最多の 8 人であった。

年代	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計
10歳代	16	73	1	44	8	36	89
20歳代	30	114	6	65	8	65	144
30歳代	42	102	10	62	11	61	144
40歳代	46	90	7	65	7	57	136
50歳代	39	76	4	55	5	51	115
60歳代	31	32	2	34	8	19	63
70歳代	12	17	2	17	1	9	29
80歳代	2	4		6			6

入院形態	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計
任意	174	405	32	212	37	298	579
医療保護	37	97		123	11		134
応急	1	1		2			2
緊急措置		1		1			1
措置	1	1		2			2
鑑定	5	3		8			8
総計	218	508	32	348	48	298	726
%	30.0%	70.0%	4.4%	47.9%	6.6%	41.0%	100.0%

3 入院回数

初回入院が 310 人（442.7 %）である。2 回目が 107 人（14.7%）、5 回以上の入院者は 199 人（27.4%）である。

回数	1	2	3	4	5回以上	総計
1病棟	4	5	5	1	17	32
2病棟	155	56	34	18	85	348
3病棟	4	2	3	5	34	48
5病棟	147	44	22	22	63	298
総計	310	107	64	46	199	726
	42.7%	14.7%	8.8%	6.3%	27.4%	100.0%

4 入院時診断

多いのは F2（統合失調症圏）、F3（気分障害）、F4（神経症圏）で、それぞれ 184 人（25.3%）、210 人（28.9 %）、184 人（25.3%）であった。2 病棟では、急性期病棟のため F2 が多く、5 病棟では、ストレスケア・思春期病棟の特徴から F3、F4 が多い。F0（認知症）は、7 人と少ない。F9 は、10 代の患者が多いためである。

F分類	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
F0	6	1		6	1		7	1.0%
F1	18	8		18	3	5	26	3.6%
F2	64	120	12	130	22	20	184	25.3%
F3	79	131	7	78	5	120	210	28.9%
F4	35	149	9	59	3	113	184	25.3%
F5	4	13		1		16	17	2.3%
F6	1	8		7	1	1	9	1.2%
F7	1	22		12	7	4	23	3.2%
F8	6	27	2	18	3	10	33	4.5%
F9	4	29	2	19	3	9	33	4.5%
総計	218	508	32	348	48	298	726	100.0%

5 年代別診断分布

年代別の診断分布を示す。20 歳代から 50 歳代にわたって、F2（統合失調症圏）、F3（気分障害）、F4（神経症圏）が多い。最も多いのは 20 歳代の F4 で 56 人、次いで 50 歳代の F3 の 50 人、40 歳代の F2 の 46 人、30 歳代の F2 が 45 人、F3 が 44 人と続く。10 歳代は F9（行為及び情緒の混合性障害）が多い。

年代	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	総計
10歳代		2	13	2	27	4		10	6	25	89
20歳代			23	27	56	9	3	4	14	8	144
30歳代	3	5	45	44	28	2	4	6	7		144
40歳代	1	6	46	45	31	2			5		136
50歳代		8	25	50	26		2	3	1		115
60歳代	1	5	24	25	8						63
70歳代	1		5	16	7						29
80歳代	1		3	1	1						6
総計	7	26	184	210	184	17	9	23	33	33	726

6 紹介元病院・クリニック(敬称略)

紹介元の病院、クリニックを表に示す。726 人の入院のうち半数は紹介患者である。平成 30 年度からストレスケアすすきのクリニックからの紹介が増えている。令和 2 年度は 18 人であり、5 病棟に入院する患者さんが多い。次いで、こころメンタルクリニック、札幌駅前クリニックの 9 人であった。勤医協中央病院からは急性期病棟に入院する患者が多い。三浦メンタルクリニックからは 5 病棟への入院者が多い。他に、さっぽろ元町メンタルクリニック、なかまの杜メンタルクリニック、朋佑会産婦人科、和光メンタルクリニック、札幌メンタルクリニックが多かった。

紹介元	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計
ストレスケアすすきのクリニック	1	6		11	18
こころメンタルクリニック	1	1		7	9
さっぽろ駅前クリニック		1		8	9
勤医協中央病院	1	5	1	1	8
三浦メンタルクリニック		1		7	8
ともメンタルクリニック		3		2	5
円山公園メンタルクリニック		3		2	5
さっぽろ元町メンタルクリニック		2		2	4
なかまの杜クリニック		2		2	4
朋佑会札幌産婦人科		3		1	4
和光メンタルクリニック		2		2	4
札幌メンタルクリニック		2		2	4
ことにメンタルクリニック		1		2	3
さくらメンタルクリニック		2		1	3
札幌こころの診療所		1		2	3
札幌ファミリークリニック				3	3
創成こころのクリニック		1		2	3
北海道医療大学病院		1		2	3

退院患者

1 年齢・年代別・性別退院患者数

年齢は 12 歳～ 85 歳、平均年齢 40.0 歳である。年代別では 20 歳代～ 40 歳代が多く、この年代で 6 割を占める。10 歳代は 87 人(11.9%) と前年よりも若干少ない。70 歳以上は 35 人(4.7%) と昨年と同様である。80 歳代は 4 人、90 歳代はいなかった。75 歳以上の後期高齢者は、13 人(1.8%) と少ない。性別では女性が 2/3 を占める。全ての年代において女性の比率が高いが、年代別では 10 歳～ 30 歳代での女性比率が高い。

年代	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
10歳代	17	70	5	22	8	52	87	11.9%
20歳代	27	106	15	47	5	66	133	18.2%
30歳代	44	108	25	48	12	67	152	20.8%
40歳代	44	98	23	41	9	69	142	19.5%
50歳代	43	67	14	41	4	51	110	15.1%
60歳代	33	38	14	21	12	24	71	9.7%
70歳代	10	21	7	11	5	8	31	4.2%
80歳代	2	2		3		1	4	0.5%
総計	220	510	103	234	55	338	730	100.0%
年齢分布	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
20歳未満	17	70	5	22	8	52	87	11.9%
20歳以上40歳未満	71	214	40	95	17	133	285	39.0%
40歳以上65歳未満	101	186	43	94	23	127	287	39.3%
65歳以上75歳未満	25	33	15	17	3	23	58	7.9%
75歳以上	6	7		6	4	3	13	1.8%
総計	220	510	103	234	55	338	730	100.0%

2 入院期間

1～4,352 日、平均 92.7 日である。90 日というのは、長期入院者も含めての日数であるので、入院期間は短い。期間別では 1 ヶ月未満が 216 人(29.6%)、1 ヶ月以上 2 ヶ月未満が 170 人(23.3%)、2 ヶ月以上 3 ヶ月未満が 235 人(32.2%) と前年とほぼ同様である。3 ヶ月未満の退院が 85%、6 ヶ月未満が 95%、1 年未満が 98% である。1 年以上は 16 人。10 年以上の 1 人は、身体合併症での転院である。

入院期間	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
1ヶ月未満	60	156	11	98	13	94	216	29.6%
1月以上2月未満	39	131	16	63	8	83	170	23.3%
2月以上3月以下	79	156	35	53	6	141	235	32.2%
3月超6ヶ月未満	26	43	25	15	9	20	69	9.5%
6月以上1年未満	8	16	11	3	10		24	3.3%
1年以上3年未満	5	4	3	2	4		9	1.2%
3年以上5年未満	1	2	1		2		3	0.4%
5年以上10年未満	2	1	1		2		3	0.4%
10年以上		1			1		1	0.1%
総計	220	510	103	234	55	338	730	100.0%

3 退院時診断

F3(気分障害) 222 人(30.4%)、次いで F4(神経症圏)は 207 人(28.4%)、F2(統合失調症圏)が 160 人(21.9%) であるが、前年とほぼ同数である。F1(アルコール依存症等)は 33 人(4.5%)、F6(パーソナリティ障害) 16 人(2.2%) と少ない。F5(摂食障害・睡眠障害等)は 15 人(2.1%)、F0(認知症・器質性)は 16 人(2.2%) である。F8(発達障害)は 32 人(4.4%) と昨年より減少。F9(行為及び情緒の混合性の障害・注意欠如多動性障害)は 29 人(4.0%) であった。

F分類	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
F0	7	9	3	8	1	4	16	2.2%
F1	19	14	7	13	2	11	33	4.5%
F2	55	105	39	77	23	21	160	21.9%
F3	85	137	28	59	10	125	222	30.4%
F4	37	170	15	46	12	134	207	28.4%
F5	4	11				15	15	2.1%
F6	2	14		7	2	7	16	2.2%
F8	8	24	6	13	3	10	32	4.4%
F9	3	26	5	11	2	11	29	4.0%
総計	220	510	103	234	55	338	730	100.0%

4 入院および退院した病棟

338人（46.3%）と半数は5病棟からの退院である。2病棟入院後に5病棟に転棟して退院したのは37人であった。急性期は2病棟に入院（47.3%）し、安定してさらなる治療モチベーションがあれば5病棟、1病棟の開放病棟転に転棟しての退院である。2病棟からの退院は234人（32.1%）で、1病棟からも103人（14.1%）が退院している。

入院時 入院病棟	退院時退院病棟					
	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
1病棟	24	2	2	5	33	4.5%
2病棟	62	229	17	37	345	47.3%
3病棟	10	3	36	1	50	6.8%
5病棟	7			295	302	41.4%
総計	103	234	55	338	730	100.0%
%	14.1%	32.1%	7.5%	46.3%	100.0%	

5 退院者の入院時・退院時の入院形態

入院時の入院形態は任意入院が579人（79.3%）を占め、138人（18.9%）が医療保護入院である。医療保護入院のままの退院は50人（6.8%）である。医療保護入院での入院者の2/3の91人が任意で退院している。本人の主体的な治療意欲がないと病状の改善も得られない。極力、任意入院での治療が望ましい。措置入院、応急入院は2名ずつ。鑑定入院は8人と最多であった。

入院時 入院形態	退院時入院形態				
	任意入院	医療保護入院	鑑定入院	総計	%
任意入院	577	2		579	79.3%
医療保護	91	47		138	18.9%
応急入院	1	1		2	0.3%
緊急措置入院	1			1	0.1%
措置入院	2			2	0.3%
鑑定入院			8	8	1.1%
総計	672	50	8	730	100.0%
%	92.1%	6.8%	1.1%	100.0%	

6 長期入院の退院者

3年以上入院して退院した7人の内訳を示す。5年以上4人、10年以上は1人であった。F3（気分障害圏）が4人、F2（統合失調症圏）が3人であった。7人のうち4人が当院外来に来ることになった。2人が他の精神科病院への転院で、1人は長期入院でもあり治療環境を変えるための転入院である。1人は高齢者で、認知症専門の病院のサ高住入居である。1人が身体合併症のために当院で連携している総合病院の身体科に転院し、再度、当院に入院となっている。

年代	性	入院期間	回数	F分類	転院	病院名
50歳代	男	3年以上5年未満	1	F3	無	当院外来
60歳代	女	3年以上5年未満	1	F3	無	当院外来
60歳代	女	3年以上5年未満	3	F3	無	当院外来
70歳代	男	5年以上10年未満	1	F3	外来	精神科病院
50歳代	女	5年以上10年未満	2	F2	入院	精神科病院
60歳代	男	5年以上10年未満	3	F2	無	当院外来
50歳代	女	10年以上	3	F2	入院	身体合併症

1 対象

平成 31 年 1 月～令和元年 12 月までの退院者 646 人中、退院時に満足度調査の回答が得られた 432 人(67.9%)を対象に分析を行った。回収率の目標は 80%である。

対象者の基礎データ 471 人

年齢 12 歳～ 85 歳 (平均 40.5 歳)

性別 男 = 156(30.9%)

女 = 349(69.1%)

入院期間 2～3,039 日 平均 93.1 日

3ヶ月未満の入院期間が 85%を占める。

入院回数 1～24 回 (平均 3.5 回)

診断別・入院形態

F3 (気分障害圏) が最多の 31.1 %を占める。F4 (神経症圏) は 30.1 %、次いで F2 (統合失調症圏) の 21.2%、の順である。

入院時の入院形態は 8 割が任意入院で医療保護入院は 2 割である。応急入院が 1 人、措置入院者は 2 人であった。退院時の退院形態は、任意が 92.6 %と 9 割以上である。

2 方法

1. 入院治療についての全体的満足度
CSQ-8J (Client Satisfaction Questionnaire)
2. 入院時、入院中の治療に対する説明
3. 医師・看護婦などのスタッフに対する評価
4. 入院生活の快適さ
5. 家族の評価 等の調査を行っている。

3 結果

全体的満足度は 85.3 %、家族では 91.6 %であった。9 割の方が満足であったと回答してくれている。ただし、不満足な方は満足度調査に協力してくれない場合もあるかもしれない。効果的な対処を学べたかが一番評価が高くて 92.7 %であった。ストレス対処の仕方などカウンセリングや集団療法が奏功していると思われた。逆に低い項目は、治療を必要としたかの 70.6 %、入院生活の快適さ 61.9 %、緑の多さ 60.4 %であった。五稜会病院は郊外にあり、緑は多いような印象であるが、不思議である。

調査人数	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	計
男	24	62	5	65	156
女	46	125	27	151	349
回収	70	187	32	216	505
退院数	103	234	55	338	730
回収率	68.0%	79.9%	58.2%	63.9%	69.2%

	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	計	%
1ヶ月未満	3	73	4	52	132	26.1%
1月以上2月未満	8	54	4	54	120	23.8%
2月以上3月以下	29	42	4	95	170	33.7%
3月超6ヶ月未満	18	13	7	15	53	10.5%
6月以上1年未満	9	3	5		17	3.4%
1年以上3年未満	2	2	4		8	1.6%
3年以上5年未満	1		2		3	0.6%
5年以上10年未満			2		2	0.4%
総計	70	187	32	216	505	100.0%

F分類	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	計	%
F0	1	5	1	2	9	1.8%
F1	4	10	1	10	25	5.0%
F2	25	60	12	10	107	21.2%
F3	22	45	8	82	157	31.1%
F4	12	40	5	95	152	30.1%
F5				3	3	0.6%
F6		6		2	8	1.6%
F8	5	11	3	7	26	5.1%
F9	1	10	2	5	18	3.6%
総計	70	187	32	216	505	100.0%

入院時形態	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	計	%
任意入院	55	106	21	211	393	77.8%
医療保護	15	78	11	5	109	21.6%
応急入院		1			1	0.2%
緊急措置入院		1			1	0.2%
措置入院		1			1	0.2%
総計	70	187	32	216	505	100.0%

項目	良くない	まあまあ	良い	大変良い	良い以上	%	総計
1 治療の質	15	96	210	159	369	76.9%	480
2 望んだ治療か	11	54	268	145	413	86.4%	478
3 必要としたか	10	129	221	113	334	70.6%	473
4 推薦するか	9	56	303	103	406	86.2%	471
5 時間をかけた援助	13	64	228	167	395	83.7%	472
6 効果的な対処	7	27	258	176	434	92.7%	468
7 全体の満足	9	61	248	158	406	85.3%	476
8 治療に戻るか	22	68	259	114	373	80.6%	463
9 事務員の応対	4	75	209	187	396	83.4%	475
10 看護婦	8	52	181	237	418	87.4%	478
11 医師	11	70	185	211	396	83.0%	477
12 他のスタッフ	5	50	174	245	419	88.4%	474
13 入院の説明	9	35	209	213	422	90.6%	466
14 入院中の説明	6	51	194	195	389	85.5%	455
15 入院生活の快適さ	38	141	148	128	276	61.9%	446
16a 病室の広さ	24	72	305	55	360	78.9%	456
16b 廊下幅	6	69	309	71	380	83.5%	455
16c ティールーム	17	87	268	79	347	76.4%	454
16d 作業療法室	53	88	255	44	299	68.0%	440
16e 壁の色	8	73	302	70	372	82.1%	453
16f 緑の多さ	39	140	189	84	273	60.4%	452
16g 臭い	22	94	220	118	338	74.4%	454
16h 清潔度	10	77	235	132	367	80.8%	454
17 医療費	27	102	271	28	299	69.9%	428
家族評価	良くない	まあまあ	良い	大変良い	良い以上	%	総計
21 入院説明	4	7	68	171	239	95.6%	250
22 入院中の説明	2	26	117	101	218	88.6%	246
23 事務員	1	29	121	102	223	88.1%	253
24 看護婦		23	105	124	229	90.9%	252
25 医師	1	27	99	124	223	88.8%	251
26 他のスタッフ		23	102	112	214	90.3%	237
27 医療費	10	56	171	11	182	73.7%	247
28 全体の満足	5	16	116	112	228	91.6%	249

全体満足度を「1」とつけた患者さん

年代	性	回数	F分類	入院期間	入棟	退棟	転院	病院名	家族の 全体満足
40歳代	男	6	F4	1ヶ月未満	5病棟	5病棟	外来	メンタルクリニック	
60歳代	男	4	F3	2月以上3月以下	2病棟	2病棟	無	当院外来	3
20歳代	男	2	F3	2月以上3月以下	5病棟	5病棟	無	当院外来	
70歳代	女	1	F3	2月以上3月以下	2病棟	2病棟	無	当院外来	3
70歳代	女	5	F3	3月超6ヶ月未満	3病棟	3病棟	無	当院外来	
40歳代	男	1	F3	2月以上3月以下	2病棟	5病棟	無	当院外来	
30歳代	女	1	F3	1ヶ月未満	2病棟	2病棟	無	当院外来	3
20歳代	女	3	F8	1ヶ月未満	2病棟	2病棟	無	当院外来	
20歳代	女	15	F2	6月以上1年未満	2病棟	2病棟	無	当院外来	3

9人の患者さんが全体満足度を「良くない」としているが、家族の満足度は高かった。2/3が2病棟入院者である。なるべく満足度を上げたい。

臨床試験について

治験とは国から薬として承認を受けるために行う臨床試験のことです。

治験では、新しく開発された薬の人での有効性（効き目）や安全性（副作用）などを確認します。現在、世界中で数多くの薬が使われていますが未だに有効な治療薬がない病気も多くあります。これらの病気に対しては効果のある新しい薬の開発が必要です。そのため世界中で新しい医薬品の開発を目指して治験が行われています。当院では積極的に治験に取り組み、新たな薬剤開発に協力しています。

治験審査委員会（IRB）は毎月第3金曜日に開催し、治験内容について審議しています。

IRB審議内容

毎月行っていますが、10月実施分を掲載致します。

医療法人社団 五稜会病院 治験審査委員会 — 開催のお知らせ —

1. 開催日時：西暦2020年10月16日（金）12：00～

2. 場 所：医療法人社団 五稜会病院 医局

出席者：中山 誠、田上 洋平、吉野 賀寿美、鈴木 大輔、清水 勇基、田中 倉一、松田 雄介、
泉 純一、阿部 重子

9名中／ 名

3. 審議・報告内容-

1. 大塚製薬株式会社より依頼

（治験実施施設：五稜会病院）

* 「大うつ病性障害患者を対象としたブレクスピプラゾール補助療法の有効性及び安全性を評価するプラセボ対照、無作為化、多施設共同、二重盲検、並行群間比較試験【331-102-0058】」

審議事項：安全性情報

2. 塩野義製薬株式会社より依頼

（治験実施施設：五稜会病院）

* 「デュロキセチン塩酸塩の児童思春期うつ病患者を対象とした第3相臨床試験
-プラセボに対する優越性試験-【1701A3631】」

報告事項：開発の中止等に関する報告書

* 「デュロキセチン塩酸塩の児童思春期うつ病患者を対象とした第3相臨床試験
-継続長期投与試験-【1701A3632】」

報告事項：開発の中止等に関する報告書

<次回 IRB 予定>・・・2020年11月20日（金）12時～

司法精神医学

令和2年度

令和2年度の司法精神医学関係の実績です。平成22年の刑事事件の本鑑定開始以来、平成23年には4件、平成24年は2件の実施でした。平成26年度は、新病棟完成で個室が増えたことから本鑑定入院も増加し、12件でした。令和2年度は本鑑定7件、簡易鑑定17件でした。検察庁や裁判所から、急の依頼がありますので、日頃の準備が必要です。医療観察法審判の参与員として今井佐千子PSWが1件担当しています。平成28年度から、医療観察法の指定通院医療機関として3名の患者の診療を行っています。

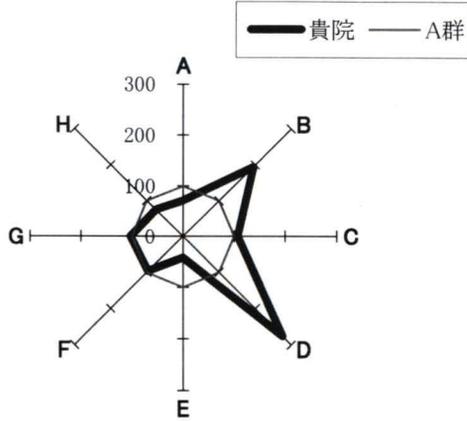
被疑事実	回数	学会名	会場	鑑者	鑑定
準強姦いせつ	76	30代男性、MR	札幌	中島公博	簡易鑑定
窃盗	77	70代男性、病名なし	札幌	中島公博	簡易鑑定
強盗致傷	78	50代男性、統合失調症	函館	中島公博	簡易鑑定
窃盗	79	40代女性、アルコール依存症	札幌	中島公博	簡易鑑定
監護者いせつ	52	50代女性、うつ	札幌	中島公博	本鑑定
威力業務妨害	53	60代男性、統合失調症	函館	中島公博	本鑑定
保護責任者遺棄致傷	80	30代女性、単純型統合失調症	苫小牧	中島公博	簡易鑑定
殺人未遂	81	80代男性、認知症	小樽	中島公博	簡易鑑定
殺人未遂	54	50代女性、統合失調症	札幌	中島公博	本鑑定
窃盗	82	50代男性、アルコール依存症	札幌	中島公博	簡易鑑定
詐欺	83	50代男性、覚醒剤後遺症	浦河	中島公博	簡易鑑定
殺人	55	30代男性、統合失調症	札幌	中島公博	本鑑定
器物損壊	84	60代男性、統合失調症	小樽	中島公博	簡易鑑定
殺人未遂	56	30代男性、統合失調症	函館	中島公博	本鑑定
器物損壊	85	70代女性、統合失調症	札幌	中島公博	簡易鑑定
窃盗	86	20代男性、ASD+フェティシズム	札幌	中島公博	簡易鑑定
傷害	87	30代男性、統合失調症	札幌	中島公博	簡易鑑定
傷害		50代男性、統合失調症、入院処遇、	札幌	今井佐千子	参与員
死体遺棄	88	50代女性、統合失調症	苫小牧	中島公博	簡易鑑定
現住建造物放火	10	70代男性、L1-小体認知症疑い	札幌	中島公博	医療観察・鑑定入院
窃盗	89	30代男性、薬物依存	札幌	中島公博	簡易鑑定
殺人未遂	57	20代女性、統合失調症	札幌	中島公博	本鑑定
器物破損	90	50代男性、統合失調症	小樽	中島公博	簡易鑑定
窃盗	91	40代女性、うつ病	岩見沢	中島公博	簡易鑑定
殺人未遂	58	40代男性、統合失調症	札幌	中島公博	本鑑定
窃盗	92	20代男性、精神遅滞	札幌	中島公博	簡易鑑定

本鑑定入院、簡易鑑定は、医療の質の向上にも寄与していますし、何よりも社会貢献になっています。

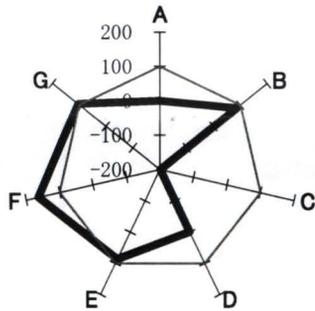
【0139 五稜会病院】

令和2年度 貴院所属群を100%とした貴院との比較

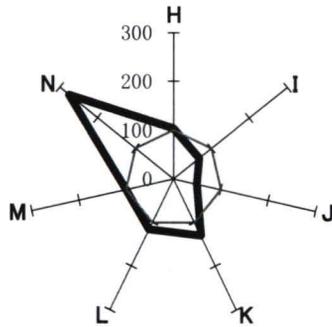
【機能性】



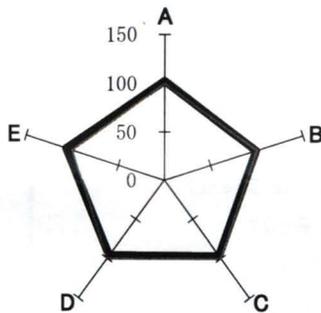
【収益性①】



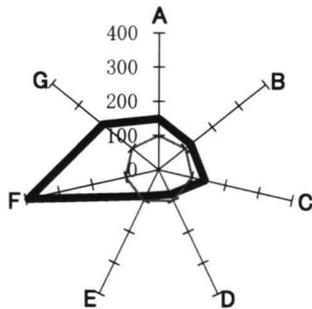
【収益性②】



【生産性】



【財政状態】



		貴院	A群
I 機能性			
A	1日平均入院患者数 (人)	182.3	257.3
B	1日平均外来患者数 (人)	234.2	120.0
C	病床利用率 (%)	94.5	88.1
D	外来/入院比 (倍)	1.28	0.47
E	平均在院日数 (日)	91.8	219.0
F	患者規模100人当たり従業員数※ (人)	75.9	78.5
G	患者1人1日当たり入院収益 (円)	18,330	17,798
H	患者1人1日当たり外来収益 (円)	6,171	8,229
II 収益性			
A	総資本対経常利益率 (%)	△ 0.01	1.66
B	総資産回転率 (回)	0.51	0.59
C	医業収益対医業利益率 (%)	△ 2.94	1.49
D	医業収益対経常利益率 (%)	△ 0.01	2.82
E	入院収益比率 (%)	71.35	82.43
F	外来収益比率 (%)	22.40	13.72
G	医業費用比率 (%)	102.94	98.51
H	人件費率 (%)	67.02	65.03
I	材料費率 (%)	6.07	8.89
J	医薬品費率 (%)	2.63	5.25
K	経費率 (%)	17.81	13.65
L	委託費率 (%)	7.16	6.17
M	減価償却費率 (%)	4.66	4.66
N	支払利息率 (%)	1.15	0.42
III 生産性			
A	従業員一人当たり年間給与と費※ (千円)	5,796	5,650
B	従業員一人当たり年間医業収益※ (千円)	8,648	8,688
C	粗付加価値率 (%)	69.0	71.3
D	労働生産性※ (千円)	5,963	6,193
E	労働分配率 (%)	97.2	91.2
IV 財政状態(機能性・安全性)			
A	1床当たり総資産額 (千円)	17,463	11,743
B	1床当たり資本額 (千円)	8,772	7,326
C	1床当たり固定資産額 (千円)	10,636	7,678
D	自己資本比率 (%)	50.2	62.4
E	固定長期適合率 (%)	62.8	72.9
F	流動比率 (%)	1,301.1	332.4
G	医業収益対借入金比率 (%)	79.1	37.7

※従業員数には常勤換算後数含む